

スピナー・マグネットバイク **SPM-550**

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い求め頂き誠にありがとうございました。

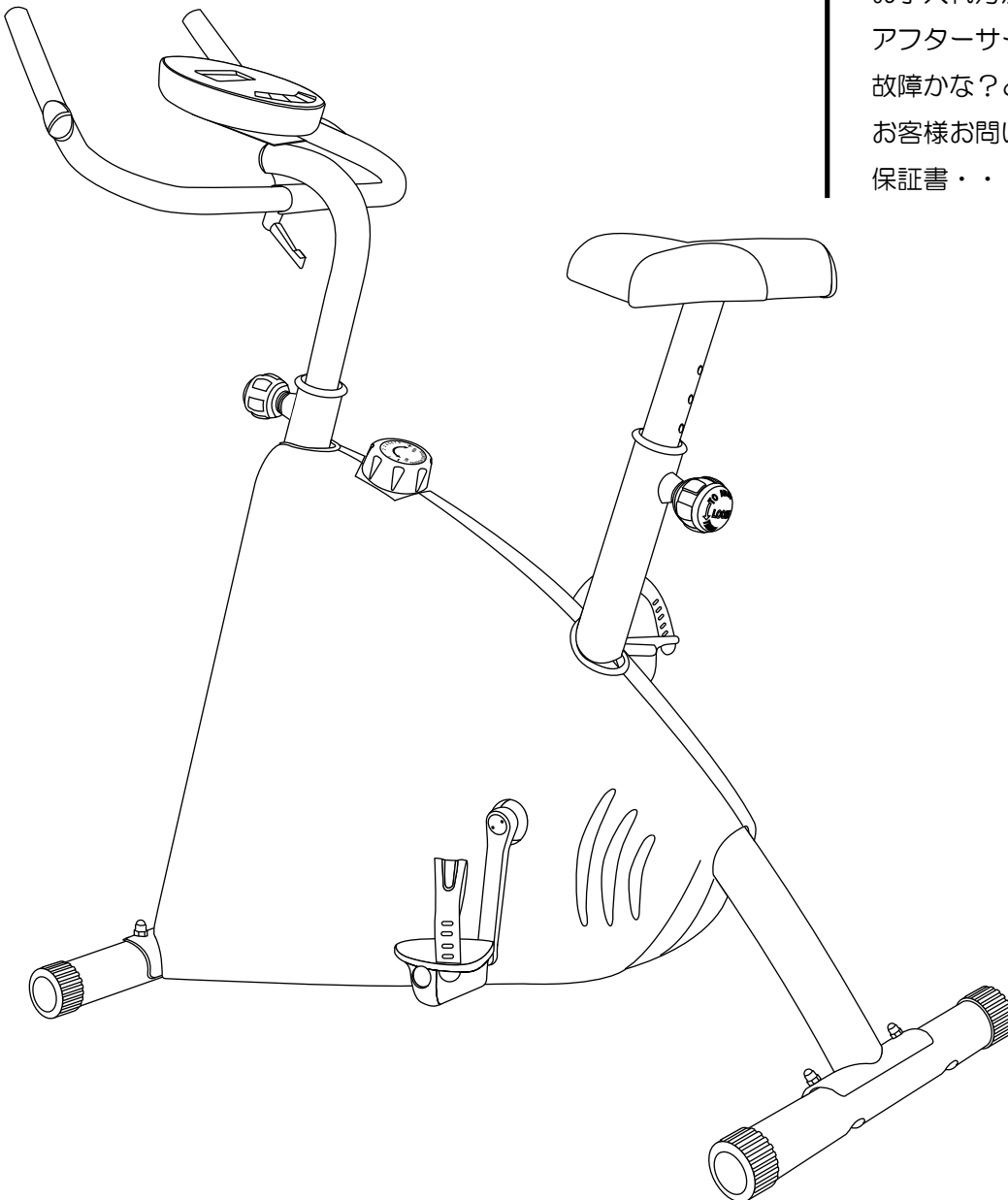
ご使用になられる前にこの取扱説明書を最後までお読みになり、内容を良く理解してから正しくご使用下さい。

この取扱説明書はご使用になる方が何時でも見れるよう商品付近に大切に保管して下さい。ご不明な点が有れば、その都度お読み直し頂き正しくご使用下さい。

ご使用前に必ず各固定部のボルト、ナットや固定ピン等の点検を行い、しっかり固定できているかご確認をお願いします。

〈目次〉

安全にお使いいただくために	2
お客様へお願い	3
梱包内容の確認	4
各部の名称	5
組立方法	6、7、8、9
メーター使用方法	10、11、12
各部の調節方法	13
トレーニングアドバイス	
▪ (ストレッチ)	14
トレーニングアドバイス	
▪ (トレーニング)	14、15
トレーニングしましょう!	15
トレーニングmemo	16
移動方法	17
お手入れ方法	17
アフターサービスについて	17、18
故障かな?と思ったら	19
お客様お問い合わせ番号	19
保証書	20



安全にお使いいただくために

本商品は家庭用です。

この「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書にない目的・方法ではお使いにならないでください。

警告とご注意



〈ご使用上のご注意〉

- ⊘ 次のような方はご使用をご遠慮ください。
 - 妊婦や生理中、心臓障害気管支系疾患等、安静が必要な方。
 - ペースメーカーなどの医用電子機器をご使用の方。
 - 医師の診断で運動を止められている方や発熱や過労などで体調が優れない方。
 - 運動中に体に変調や異常を感じた場合は直ちに使用を中止し医師にご相談ください。
 - 体重が100kg以上の方。
 - 特に膝や腰などに不安がある方は、必ず医師と相談の上ご使用ください。
- ⚠ ご使用時の服装の注意と準備運動の励行でケガの予防。
 - ゴム底の運動靴を履き体が動きやすい服装でご利用下さい。運動前には軽い準備運動を行い運動後は整理体操をそれぞれ5分程度行い体調を整えて下さい。
- ⊘ 次のような方は保護者が付き添ってご使用ください。
 - お年寄り、お子様、体の不自由な方、リハビリ用としてご使用になる場合。また、危険防止のためご使用中には小さなお子様近づかないようにして下さい。
- ⚠ スピンバイクの特徴である駆動輪は慣性が高い為、一旦回転するとしばらく回転し続けます。回転中はペダルから足を絶対に外さないで下さい。

〈取扱上の注意〉

- ⚠ ご使用前にご確認下さい。
 - ご使用前に必ず各固定ボルト、ナットや固定ピン等の点検を行い、しっかり固定出来ているかのご確認をお願いします。
- ⊘ 本商品は家庭用です。
 - 本商品は一般家庭用ですので業務用としてやまた、不特定多数の方が使用する目的の場所では使用しないで下さい。
- ⚠ 万一商品が濡れた場合は・・・
 - サビや故障の原因となります。また、滑りやすくなりますので乾いた布などで速やかに拭き取って下さい。
- ⊘ ポリ袋で遊ばない。
 - 特にお子様にご注意。本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

- ❗ 二人以上での運搬をお願いします。
 - 当商品は半完成品にてお届けしておりますので、梱包が大変大きくなっております。二人以上での運搬をお願い致します。
- ⊘ 次の場所には設置・保管をしないで下さい。
 - 当商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないで下さい。
 - 斜めに傾いたり滑りやすい恐れのある不安定な場所や振動の多い場所。
 - 油煙や湯気、湿気や埃の多い場所。風通しの悪い場所。
 - 極端に高温や低温になる場所。直射日光の当たる場所や熱器具の近く。
- ⊘ 不当な修理・分解・改造をしないで下さい。
 - 不当な修理・分解・改造は破損・故障・ケガの原因となり大変危険です。上記の事由により発生した場合の修理費用はご負担願います。
- ⊘ 異物はいれないで下さい。
 - メーターや本体の内部に異物はいれないで下さい。異物が入ったまま使用すると故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭では注意して下さい。
- ⊘ 本機から降りる際は急に降りないで下さい。
 - 本機ごと倒れる恐れがございます、ご注意下さい。
- ❗ 傷を付けないようにご注意下さい。
 - 廊下やフローリング、畳の部屋で組立やご使用になると床に傷を付ける場合があります。必ずマットやカーペットなど床を保護するものを敷き、傷を付けないようご注意下さい。

お客様へお願い

本商品をご家庭で手軽にご使用頂けるように設計されたトレーニング器具です。トレーニングジムや多人数でのご使用には不適切です。あらかじめご了承ください。

・

荷物の取扱いには十分な注意を致しておりますが、何分にも海外からの輸入品ですので、輸送途中に細かな傷や汚れ等が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

・

本商品は大量生産をしており、検査のために組み立て傷が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

・

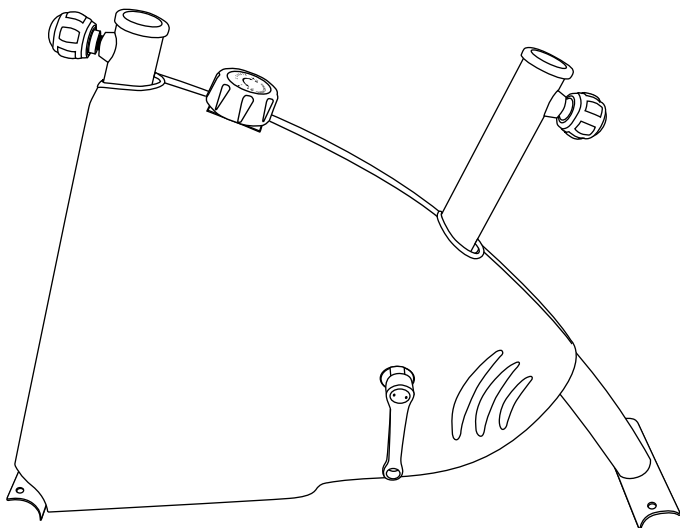
商品の形状は安全向上の為に予告なく変更をする場合があります。カタログや説明資料等と一部異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。

・

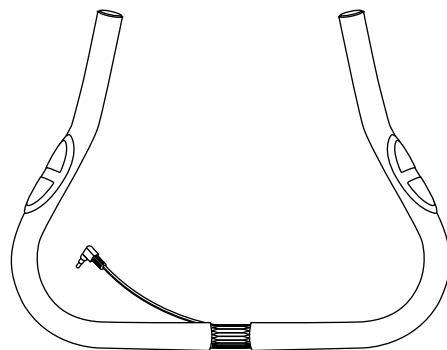
梱包内容の確認

組立の前に梱包内容をご確認ください。万一、不足等ございましたら販売店もしくは当社までご連絡いただきますようお願いいたします。

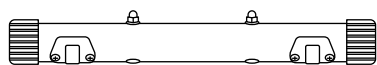
1. 本体



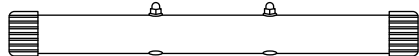
2. ハンドル



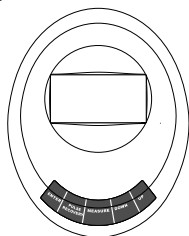
3. 前フレーム（キャスター付き）



4. 後フレーム

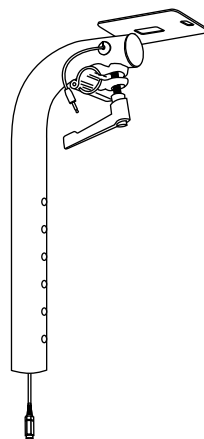


5. メーター

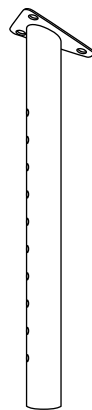


モニター電池（単三2本）

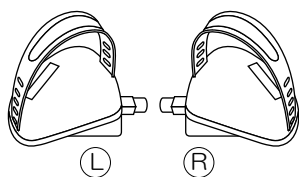
6. ハンドルポスト



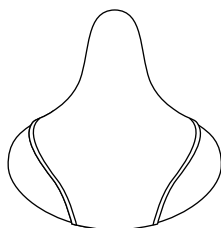
7. サドルポスト



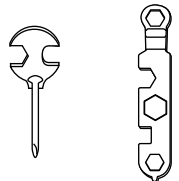
8. ペダル



9. サドル

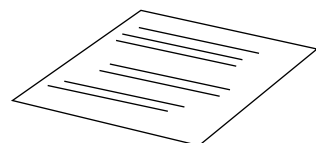


10. 工具

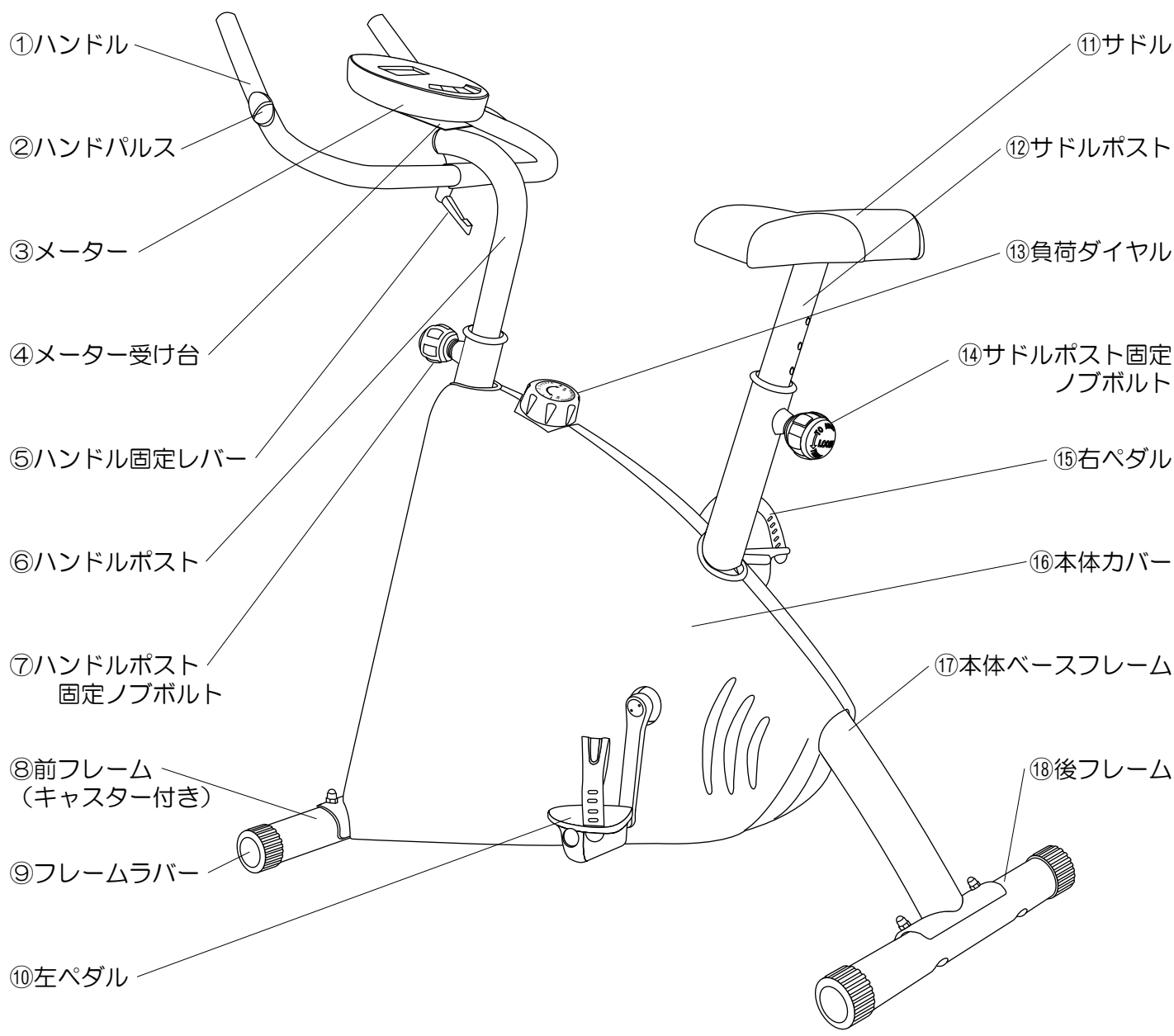


工具A 工具B

11. 説明書



各部の名称



商品サイズ	約幅50.5×奥行108×高さ128 (cm)
重量	約27.5kg
材質	スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
耐荷重	100kg
原産国	台湾
連続使用時間	約30分  最大負荷で30分運動した場合には、次の使用までに30分以上間隔をあげてください。

組立方法

組立の際のご注意

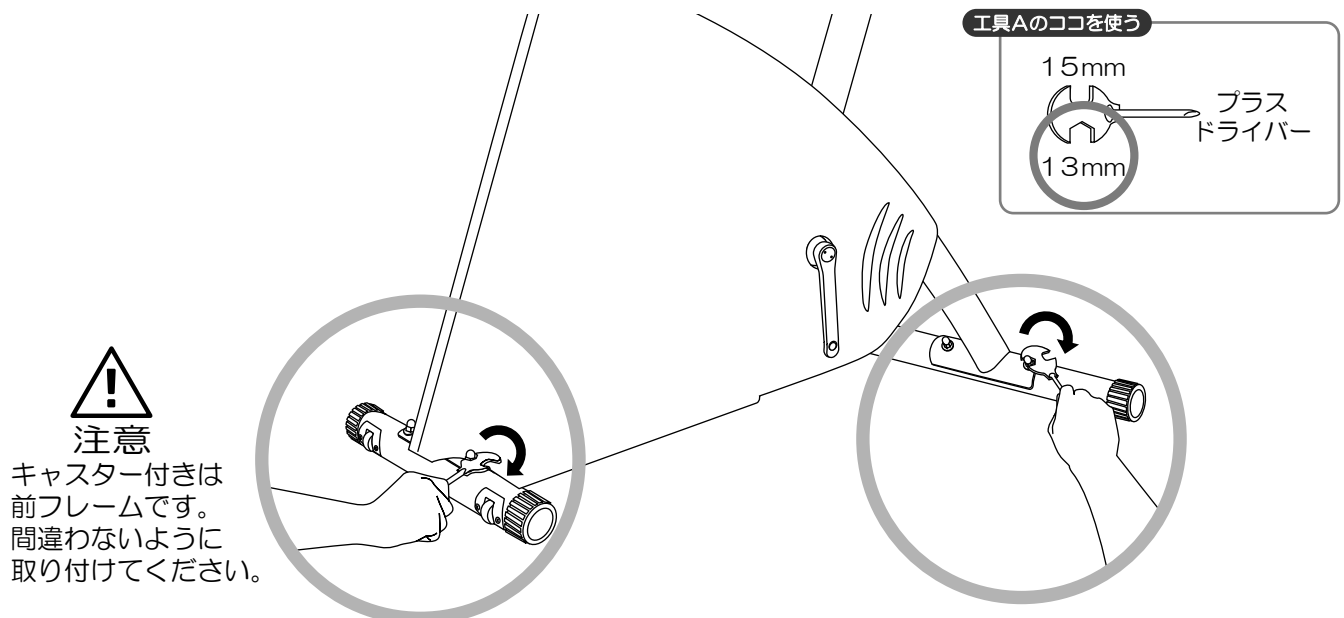
組立を行う際は、完成品の大きさを考慮した十分なスペースを確保し、指などを傷つけないように手袋などで手を保護して組立を行ってください。

まず、商品を梱包箱から取り出し、梱包内容で部品を確認し説明書通りに組立を行ってください。床を傷つけないよう保護するものの上で行われることをおすすめします。

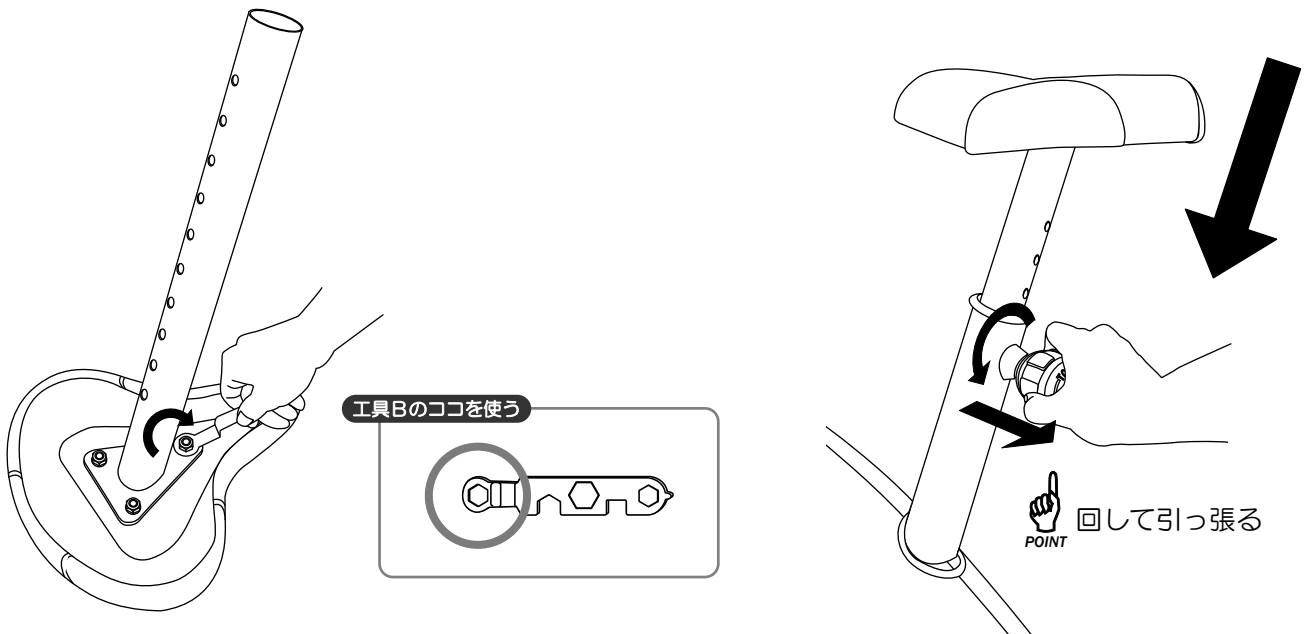
point

各ボルト、ナットの締め付けは組立が完全に終わってから締め付けてください。途中で締め付けますと最後まで組立できない場合がございます。

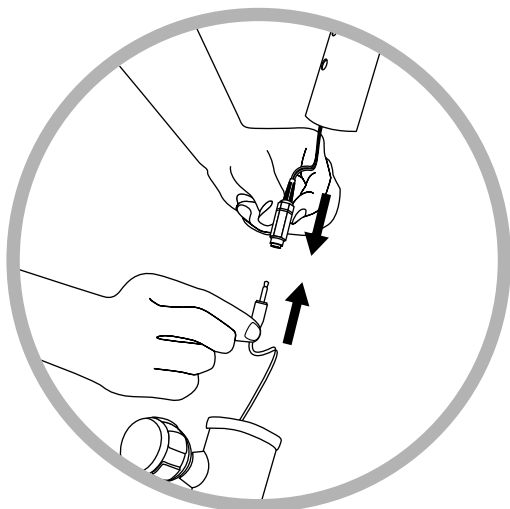
1. 梱包箱から本体を取り出し、前後フレームに仮止めされているナット・ワッシャを一旦取り外し、本体に工具Aで取り付けます。



2. サドルに仮止めされているナット・ワッシャを一旦取り外し、サドルポストを工具Bで取り付けます。本体のサドルポスト固定ノブボルトを左へ回しゆるめ、サドルポストを差し込み、サドルポスト固定ノブボルトを右へ回し固定します。

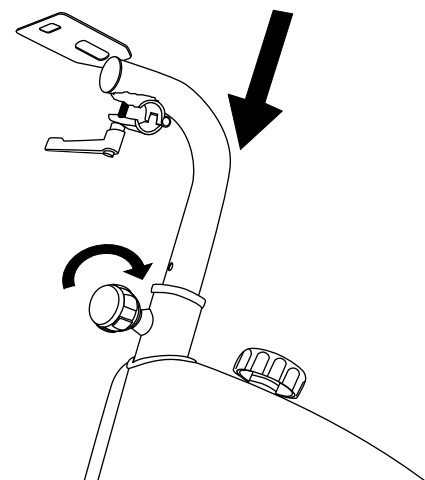


3. ハンドルポストから出ているセンサーコードと本体から出ているセンサーコードを接続し、ハンドルポストを本体に差し込み、ハンドルポスト固定ノブボルトで固定します。

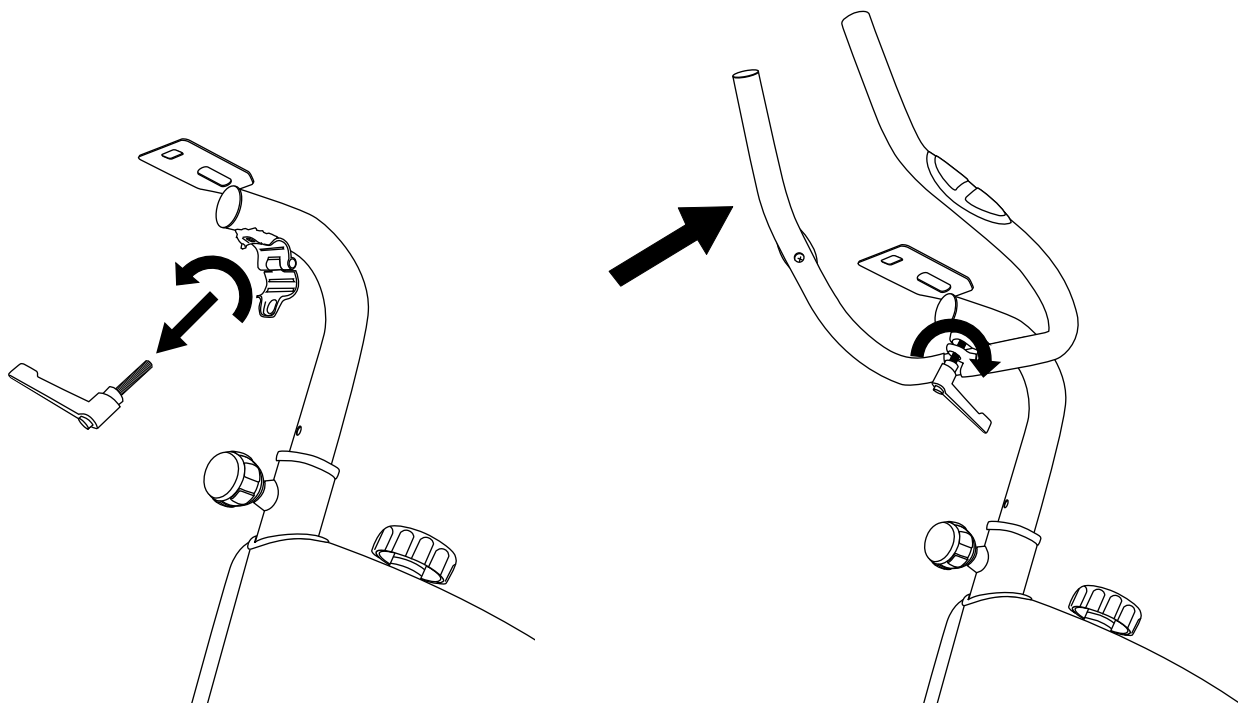


注意

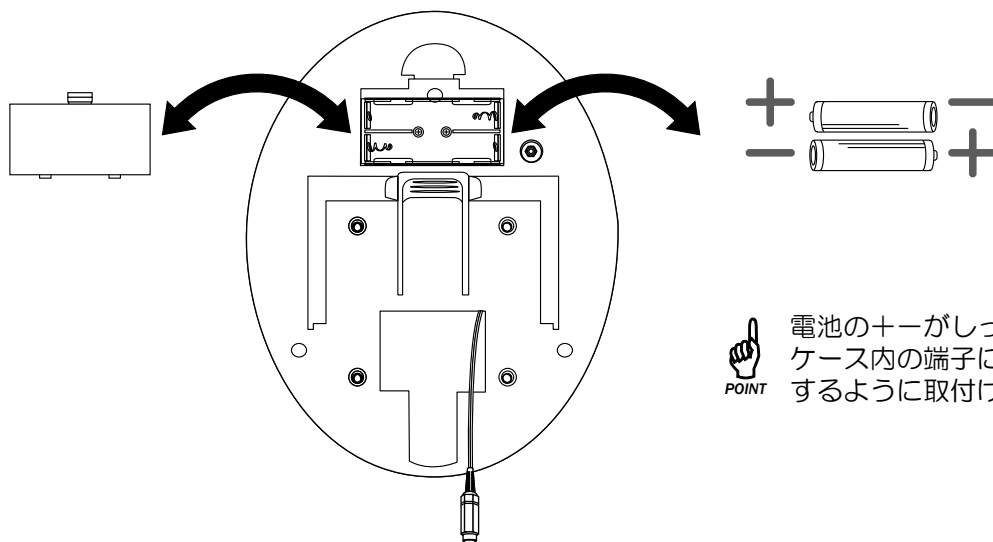
センサーコードを挟まないようご注意ください。接続後、ハンドルポスト内に収納してから本体に差し込みます。



4. ハンドル固定レバーを一旦取り外し、ハンドルをセットし再度ハンドル固定レバーで固定します。



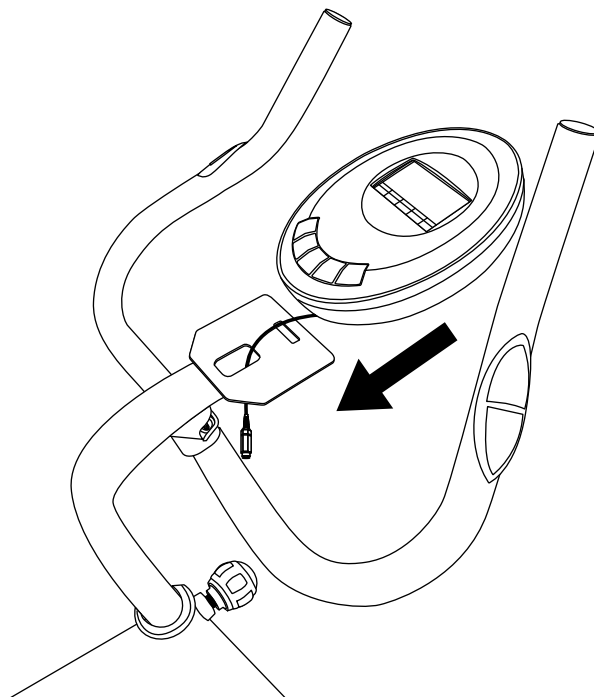
5. メーター裏側の電池ボックスのふたを外し、付属の単三電池を「+（プラス）」、「-（マイナス）」の方向に注意して入れてください。ふたを元のようにもどします。



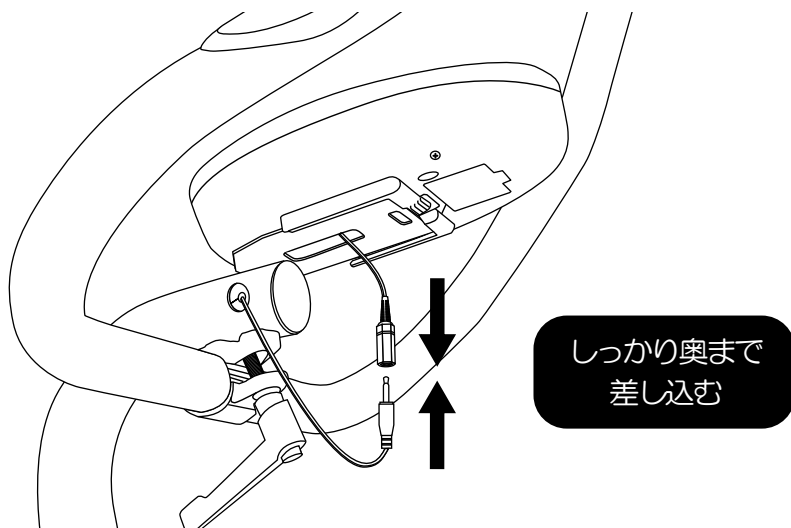
POINT

電池の＋がしっかりケース内の端子に接触するように取付けます。

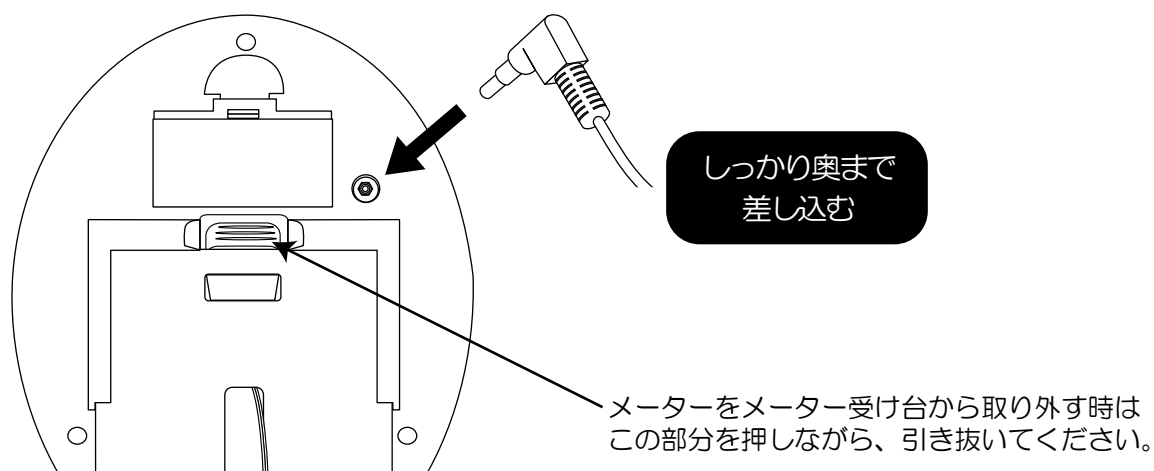
6. メーターから出ているセンサーコードをメーター受け台の穴（大きい方）に通してから、差し込み取り付けます。



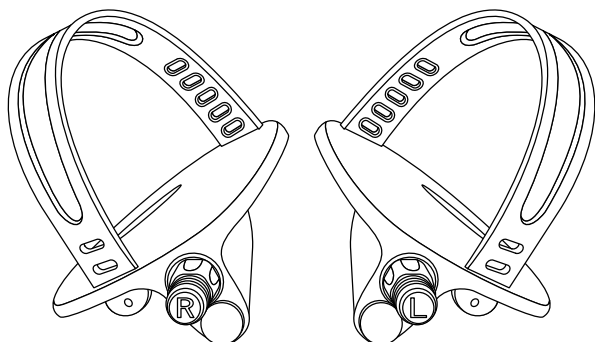
7. 本体から出ているセンサーコードとメーターから出ているセンサーコードを「カチッ」というまでしっかり差し込みます。



8. ハンドルから出ているパルスセンサーを、メーター裏のパルスセンサー差し込み口に「カチッ」というまでしっかりと差し込んでください。



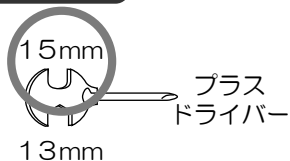
9. ペダルを取り付けます。まず図のようにペダルに刻印されている左右を確認してください。「R」が「右」、「L」が「左」です。サドルに座った状態で右足側に右ペダル、左足側に左ペダルを取り付けます。右ペダルは右回し、左ペダルは左回しで固定してください。まず手で3～5回転程取り付けた後、工具Aで固定、最後にしっかり増し締めしてください。



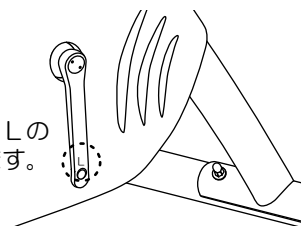
右 = R L = 左

※必ず右、左を確認してください。

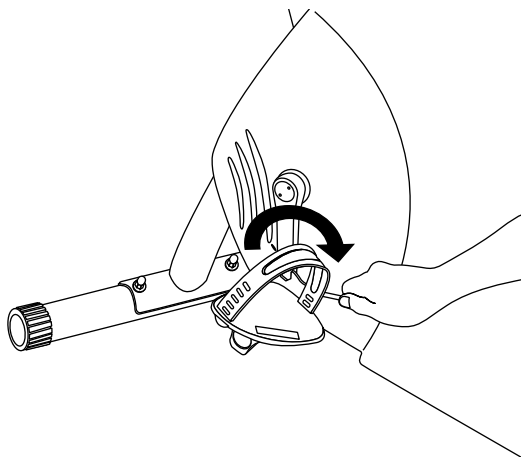
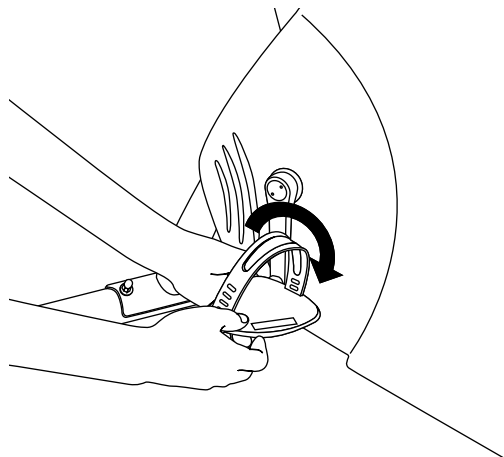
工具Aのココを使う



クランクにもR・Lの刻印がされています。

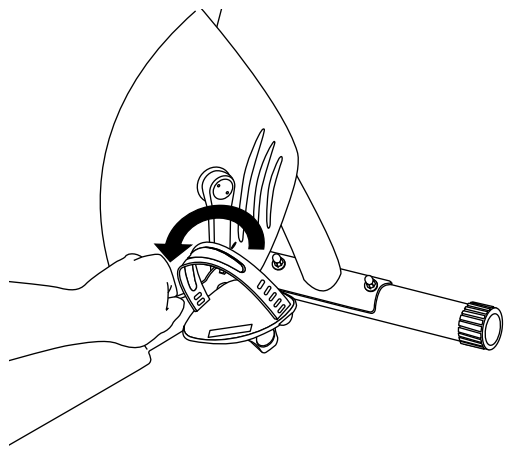
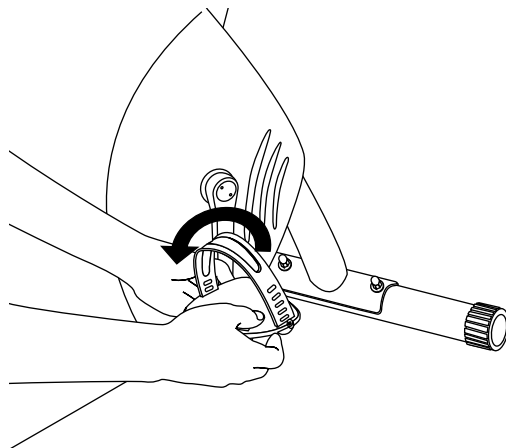


右ペダルは“右回し”



R = 右ペダルはRクランクへ

左ペダルは“左回し”



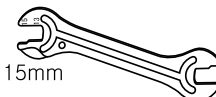
L = 左ペダルはLクランクへ

※左ペダルは本体に向かって左回しです。
間違いやすいのでご注意ください。



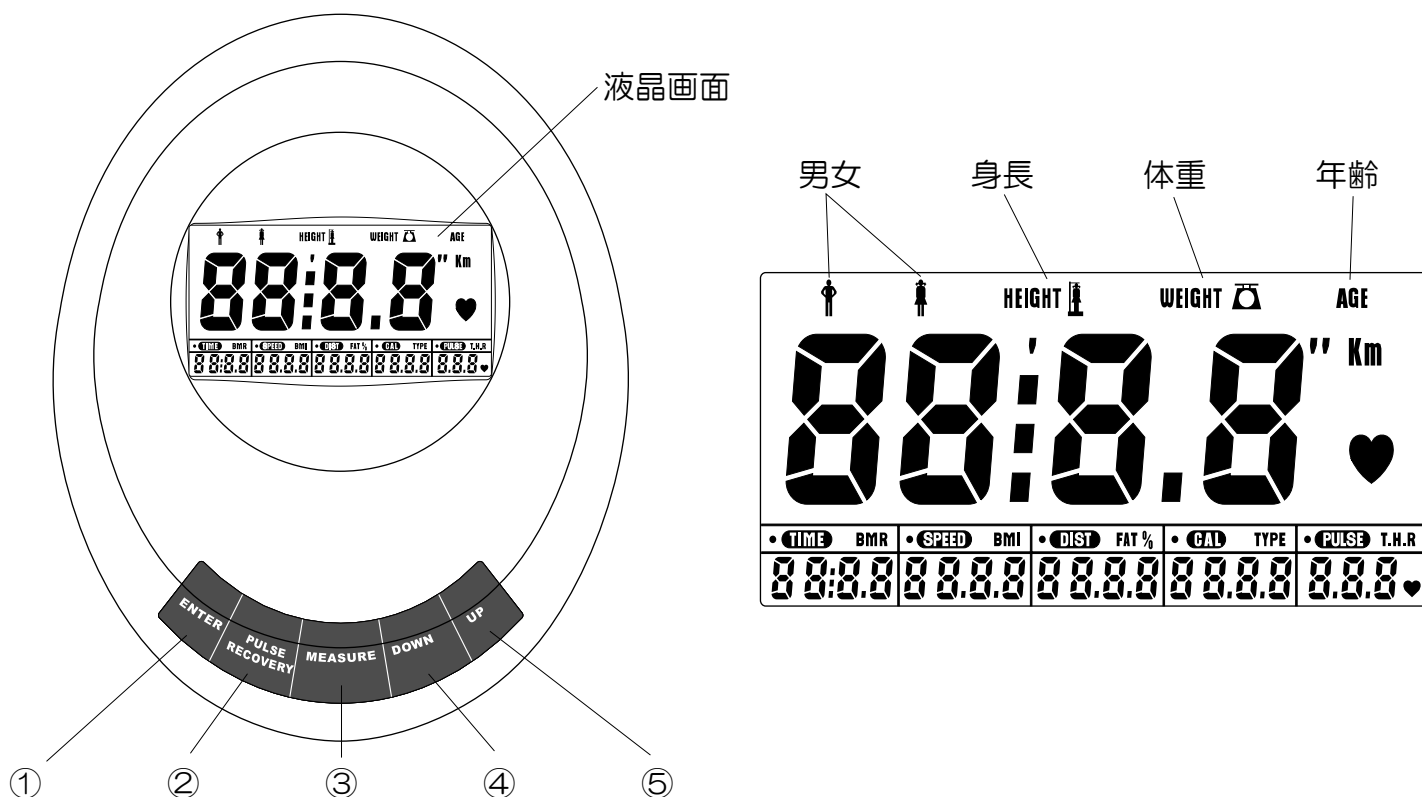
POINT

しっかり取り付けていないと音鳴りの原因となります。付属工具で取り付けし難い場合はご家庭にある工具（スパナ15mm）で増し締めしてください。



これで組立は完了しました！ 最後に各ボルト、ナット、各部ノブボルト等が確実に固定されているかご確認ください。

メーター使用方法



KEY GUIDE ボタンの機能説明

① ENTER (RESET)

1. 設定する項目を選ぶとき

男女 -- 身長 -- 体重 -- 年齢、運動時間 -- 距離 -- 消費カロリー -- 心拍

2. 設定モードにするとときにこのボタンを押します。

3. 設定した数値を確認するときにこのボタンを押します。

4. 全ての数値をゼロにリセットするときに2秒間押します。

5. 5秒以上押し続けると体脂肪測定 of 個人データを設定する表示に戻ります。

6. 個人データ入力後のスキャン表示を開始します。

② PULSE RECOVERY

心拍回復測定 of 画面を表示します。(P.12 参照)

③ MEASURE

体脂肪測定 of 画面を表示します。(P.12 参照)

* この機能を使う前に、メーターに個人データを入力する必要があります。

④ DOWN

1. 項目の変更および設定数値を下げます。

男女 -- 身長 -- 体重 -- 年齢、運動時間 -- 距離 -- 消費カロリー -- 心拍

2. 項目を選び、運動中にメインスクリーンに表示します。

スキャン → 心拍 → 消費カロリー → 距離 → 速度 → 運動時間 →

⑤ UP

1. 項目の変更および設定数値を上げます。

男女 -- 身長 -- 体重 -- 年齢、運動時間 -- 距離 -- 消費カロリー -- 心拍

2. 項目を選び、運動中にメインスクリーンに表示します。

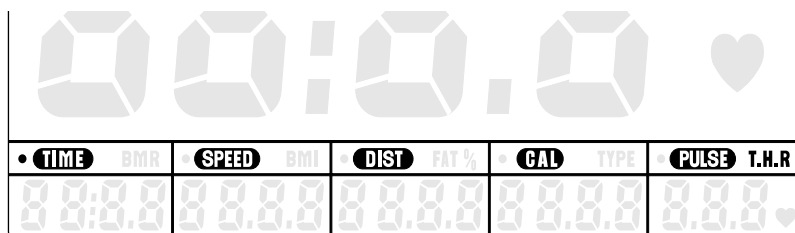
スキャン → 運動時間 → 速度 → 距離 → 消費カロリー → 心拍 →

FUNCTION AND OPERATIONS 機能と操作

AUTO ON/OFF

運動開始時自動的に電源が入り、4分以上運動を止めると表示が消え、全ての項目がゼロになります。

*運動数値は累積しません。



SCAN/スキャン

点（・dot）が点滅するまでUPまたはDOWNボタンを押しスキャンモードにします。

以下の項目を5秒ずつメインスクリーンに表示します。

— 運動時間(TIME) → 速度(SPEED) → 距離(DIST) → 消費カロリー(CAL) → 心拍(PULSE) → —

TIME/運動時間

運動時間を表示します。

カウントアップ：時間設定がないと、00:00～99:59（分：秒）まで加算します。

カウントダウン：目標設定時間1:00～99:00（分：秒）から1秒ずつ減算します。

♪設定数値に達するとアラーム音が鳴ります。

SPEED/速度

運動中の速度を0.0～99.9（km/h）で表示します。

DIST/距離

運動距離を表示します。

カウントアップ：距離設定がないと、0.1～999.9（km）まで距離を加算します。

カウントダウン：目標設定距離を1.0～999.0（km）から0.1 kmずつ減算します。

♪設定数値に達するとアラーム音が鳴ります。

CAL/消費カロリー

運動中の消費カロリーを表示します。

カウントアップ：カロリー設定がないと、0.1～999.0（Kcal）までを加算します。

カウントダウン：目標設定カロリーを1.0～999.0（Kcal）から0になるまで減算します。

♪設定数値に達するとアラーム音が鳴ります。



注意

カロリー表示の数値は他の運動データを元に算出しており目安としてお考えください。

PULSE/心拍

T.H.R (Target Heart Rate)

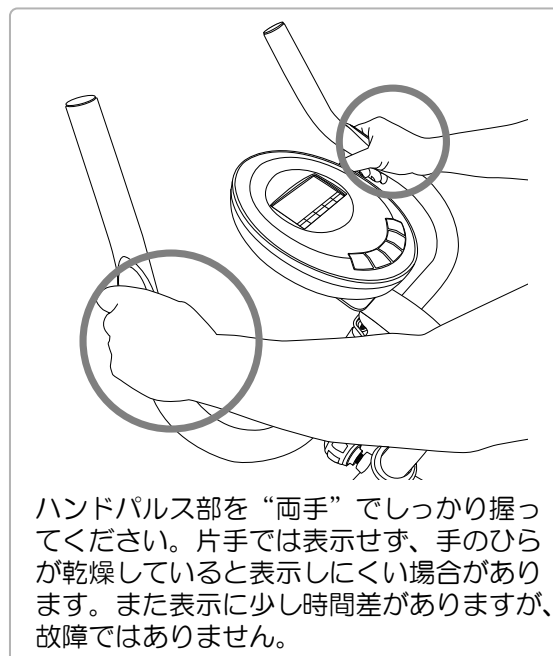
運動中の心拍数を60～220の間で表示します。

数値を設定したい場合は、T.H.R表示までENTERボタンを押し、UPまたはDOWNボタンを押して必要な数値を設定します。設定数値に達すると、設定数値より心拍が下回るまで点滅します。ハンドパルス部を両手で握ると、液晶画面にBPM（1分あたりの心拍）を表示します。*15秒以内に設定を完了しないと“P”が表示されます。これは省電力モードです。



注意

心拍計測表示は運動目的の為にあり、医療器具ではないので目安としてご利用ください。



ハンドパルス部を“両手”でしっかり握ってください。片手では表示せず、手のひらが乾燥していると表示しにくい場合があります。また表示に少し時間差がありますが、故障ではありません。

PULSE RECOVERY（心拍回復測定）

運動の後に、PULSE RECOVERYボタンを押して「心拍回復測定」をすることができます。
PULSE RECOVERYボタンを押し、すぐにハンドパルス部を握り、1分間の測定が終了するまで離さないでください。

「F-1.0」回復機能が最も良い状態 ～ 「F-6.0」回復機能が最も悪い状態
(単位は0.1)

BODY FAT MEASUREMENT（体脂肪測定）

MEASUREボタンを押し「体脂肪測定」をすることができます。
MEASUREボタンを押し、すぐにハンドパルス部を握り、測定終了まで離さないでください。
測定前に個人データを入力する必要があります。電源を入れたとき、またはENTERボタンを5～6秒以上押し、個人データ測定入力画面を表示します。ENTERで項目を選択し、UPまたはDOWNボタンで個人データを入力します。個人データの入力是一人のみ、AUT-OFF後も個人データは残ります。 *初期設定 --- 性別：男、身長：175cm、体重：70kg、30才

■BMR（Basal Metabolic Rate）／基礎代謝量
体脂肪率、体重、年齢、性別から算出し、1～9999（Kcal）で表示します。

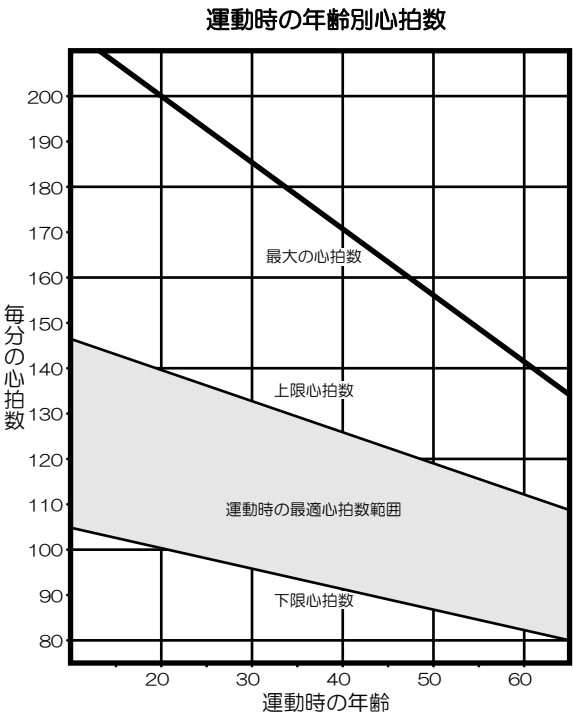
TIME	BMR	SPEED	BMI	DISP	FAT %	Q21	TYPE	Q25	T.H.R
88:88	888.8	888.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8	88.8

■BMI（Body Mass Index）／体格指数
体重、身長から算出し、1.0～99.9の間で表示します。

■FAT%（Body Fat Rate）／体脂肪率
体重、年齢、性別から算出し、5～50%で表示します。

■TYPE／タイプ
計算された体脂肪率により、9つのタイプで表示します。
タイプ1：ウルtrasポ-ツマン
タイプ2：理想的なスポーツマン
タイプ3：ウルtrasリムタイプ
タイプ4：スポーツマン
タイプ5：理想的な健康体
タイプ6：やせ形
タイプ7：太りすぎ
タイプ8：肥満
タイプ9：かなり肥満

■T.H.R（Target Heart Rate）
運動の目安となるターゲットハ-トリ--ートを表示します。
この数値は60～220の範囲で表示され、運動時のT.H.R項目に反映され、その数値より心拍が下回るまで点滅し、安全な心拍で運動するよう促します。



警告

ペースメーカーなどの医用電子機器との併用は絶対にしないでください。
誤作動をまねき、生命に著しい障害をもたらす恐れがあります。



注意

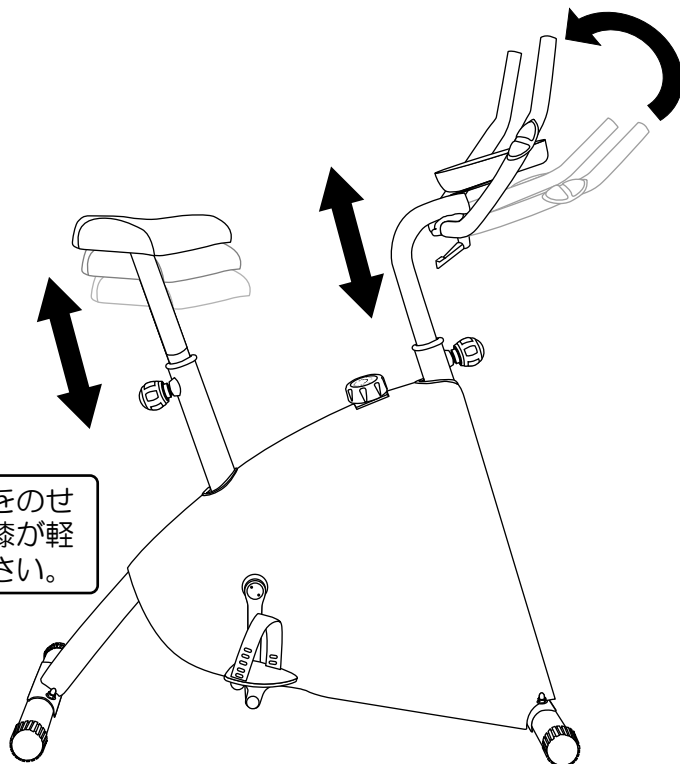
付属の電池は工場出荷時のモニター電池で通常より寿命が短くなっております。
液晶表示が薄くなってきたり消えた場合は新しい電池と交換してください。
また、長時間ご使用されない場合は電池を外して保管してください。

各部の調節方法

サドルとハンドルの調節

サドルは10段階に高さ調節できます。
ハンドルは6段階に高さ調節でき、
ハンドル角度はフリーに調節できます。
個人や運動の目的に合わせて、調節してください。

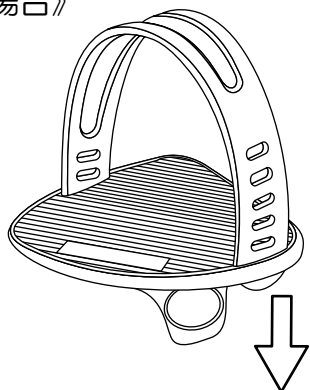
サドルの高さはサドルに座り、ペダルに足をのせて足の位置が一番低い位置になったときに膝が軽く曲がる程度に高さ調節して運動してください。



ペダルの調節

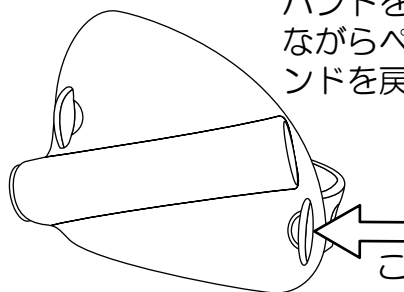
足のサイズに合わせて調節してください。内側・外側ともに調節が可能です。

《締める場合》



バンドの先端を引っ張って締めてください。

《緩める場合》



バンドを横方向に押しなが
らペダル上部にバンドを戻します。

この部分を押す



POINT ドライヤーなどで少し暖めると調節しやすくなります。

負荷調節方法

8段階に負荷調節できます。負荷ダイヤルを左右に回して調節します。
1の方向：左に回すと「軽く」、8の方向：右に回すと「重く」なります。



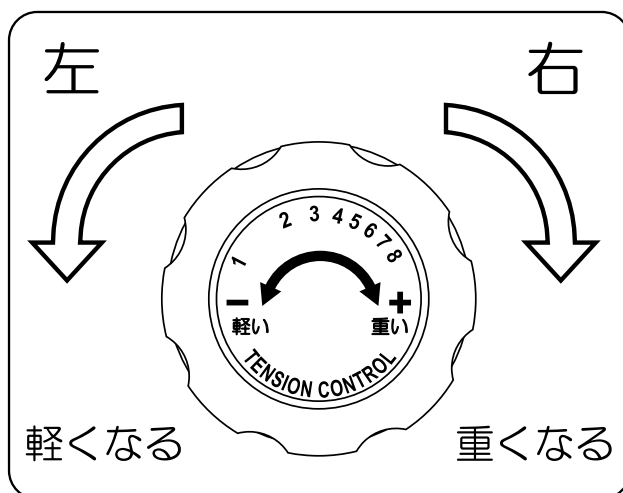
注意

ペダルの負荷を極端に重くしますと、足を痛める危険がございます、無理のない適度な負荷での運動をおすすめ致します。
また長時間・重い負荷での運動は、駆動ベルトが摩耗し易くなります。軽い負荷でご使用頂いた方が長期間お使いいただけます。



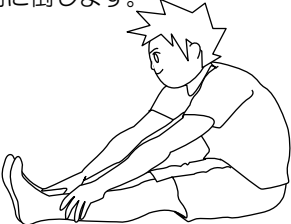
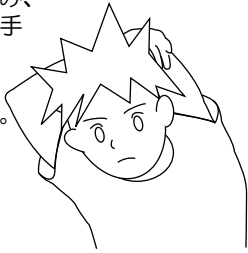
注意

連続使用時間は約20～30分が目安です。最大負荷で30分運動した場合には、次の使用までに30分以上間隔をあげてください。



トレーニングアドバイス（ストレッチ）

運動の前後に軽いストレッチを取り入れましょう。ストレッチはケガの防止や運動後に疲労を残さない効果があると言われています。各ストレッチを15秒から20秒。息を吐きながら反動をあまりつけずにゆっくりと行うようにしましょう。

ぜんくつ（太股うらのストレッチ） 床に座り足をのばして体をゆっくりと前に倒します。 	体側のばし（体側のストレッチ） 頭の後ろで腕を組み、片方の肘を反対の手で引きます。脇の裏をしっかりとのばす感覚で行います。左右行います。 	股わり（股関節のストレッチ） 足の裏を合わせあぐらに座り股関節を伸ばします。 
首のぜんくつ（首のストレッチ） 頭に手を添えて、左右と前にゆっくりと倒します。 	腰をねじる（腰のストレッチ） 床に座り片足を伸ばし、反対の足をかけて体をかけた足の方へひねります。左右行います。 	ふくらはぎをのばす（ふくらはぎのストレッチ） 立った状態で足を前後に開き、後ろ足のかかとを浮かさないように体を前に移動させ、ふくらはぎを伸ばします。左右行います。 

トレーニングアドバイス（トレーニング）

運動の進め方

運動はいきなりはじめず、まず準備運動（ストレッチ・P.14参照）を行いすぐに全速力で行わず、最初の3分～5分はゆっくりと運動しそして目標のペースの範囲で行います。また、運動の終わりは急激に停止せず、最後の3分から5分をかけて徐々に速度（ペース）を落としていきます。また、運動後には整理運動（ストレッチ・P.14参照）を行うよう心がけてください。

運動の量

運動の量としては、1回10分以上継続した運動を1日合計20～30分ほどが望ましいとされています。（一回10分、一日2、3回でもかまいません）頻度は原則的に毎日行うことが望ましいとされていますが、1週間に4日程度でもかまいません。運動は目的に合わせて無理のないように長く継続させていくことが大切です。また、運動の負荷は無理のないペースで、個人によって強度は異なりますが「楽だな」「ちょっと楽だ」という感覚程度の運動が効率のよい運動の目安と考えましょう。

有酸素運動

理想的な有酸素運動を行うには、軽めの負荷でご使用いただくことをおすすめします。※重い負荷や心拍数が一定以上の数値を超えると無酸素運動になっていることがあります。また負荷を重くしすぎますと、駆動ベルト（本体カバー内部品）の抵抗が大きくなり、熱くなる事がございます。その場合は、しばらく時間をおいてからご使用ください。駆動ベルトは摩擦により摩耗します。（使用頻度と負荷のかけ方により異なります）その際は、新しい駆動ベルト（別売品）と交換してください。

筋力トレーニング（無酸素運動）

毎日の運動を効果的にするために、基礎代謝を高める働きがある軽い筋力トレーニングを取り入れることをおすすめします。筋力トレーニングは日常生活においてあまり使われていない筋肉を鍛えます。しかし、鍛えるといっても全力でする必要はありません。腕立て伏せ、腹筋、腕屈伸（ダンベルなど）を毎回、運動後に20回ずつ取り入れましょう。しかし、筋肉痛になったり苦痛を感じる場合は回数を減らすようにしましょう。

運動を効果的に

運動を効果的に行うために、メーターの心拍計を使ってトレーニングしましょう。下の計算式で自分の心拍数を算出します。運動開始の10分から15分は徐々に算出した運動心拍数に上げていき、運動時間中は心拍数を維持するようにします。運動は急に止めるのではなく10～15分かけて安静時の心拍数に戻るようクールダウンをします。

運動心拍数の計算方法

$180 - \text{年齢}$ ・・・過去2年間ケガや病気が無く健康な方。。

$180 - \text{年齢} - 5$ ・・・ケガをしていたり、風邪をよくひく。またアレルギーがある方。

$180 - \text{年齢} - 10$ ・・・病気が治ったばかりや、投薬を受けている方。

〔10～15分〕

徐々に運動心拍数に上げていく。

〔運動時間〕

大幅に上下しないようにスピード、
負荷で心拍数を維持する。

〔10～15分〕

徐々に安静時の心拍数に戻す。

STOP

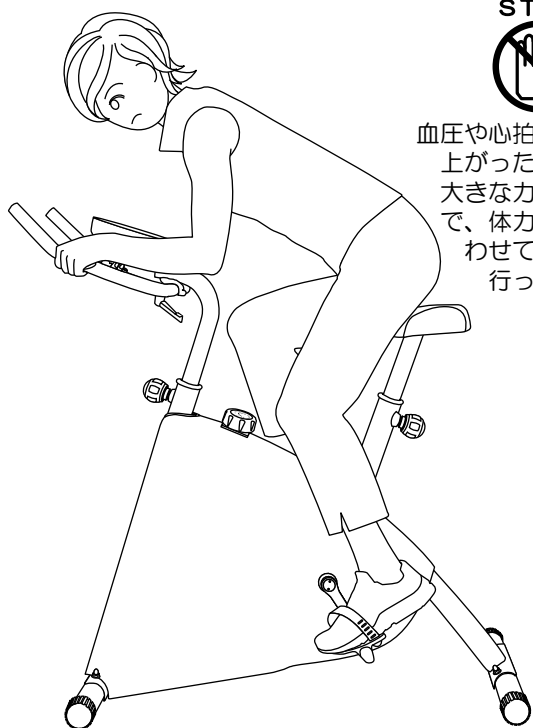


運動中急激に心拍数が上がったり、息苦しさを感じた場合、また体の各所に痛みを感じた場合は、すみやかに運動を中止し、場合によっては医師の診断を受けて下さい。

トレーニングしましょう！

スピナー・マグネットバイクは、ハンドルの位置、負荷、こぎ方を変えるだけで、いろんなバリエーションでサイクル運動ができ、サーキットトレーニングも効果的に行えます。

スピニング運動



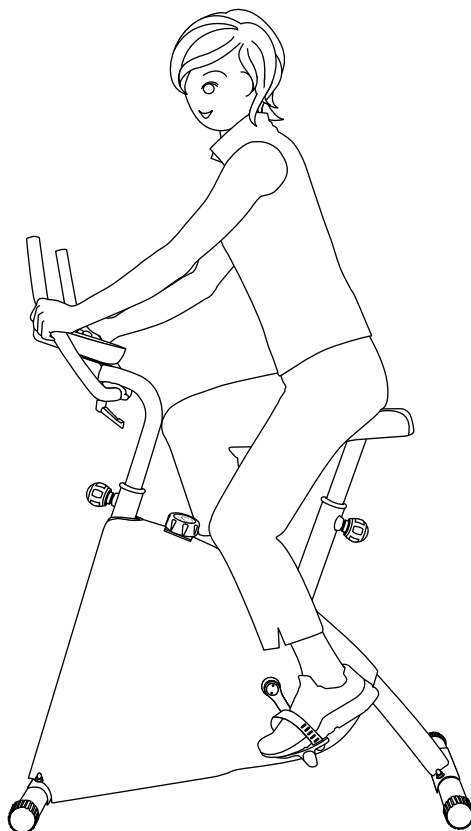
STOP



血圧や心拍数が急激に上がったり、筋肉に大きな力がかかるので、体力や年齢に合わせて、無理なく行ってください。

ハンドルを倒し前傾姿勢で《重めの負荷・早い速度》で一気に約30秒～3分ほどこぎます。無酸素運動の効果が期待できます。

サイクル運動



リラックスした姿勢で《軽い負荷・遅い速度》でゆっくり10～20分ほどこぎ有酸素運動しましょう。

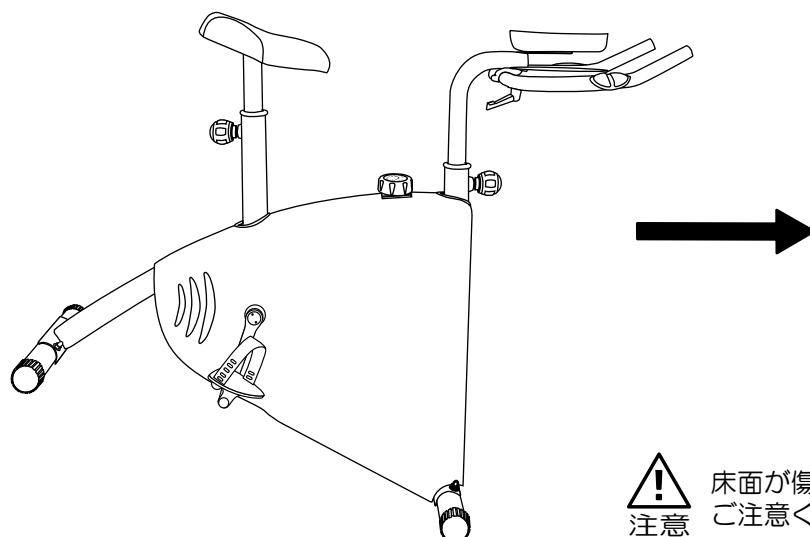
トレーニング memo

トレーニングした時間や距離などメモしておきましょう。
心拍数、体重、体温、食事や健康診断などを記録してもよいでしょう。



移動方法

移動時はハンドル部分を持ち、キャスターを利用して移動します。



お手入れ方法

- ・ 本体やメーターなどは柔らかい布で拭きます。
- ・ 汚れがひどい場合はうすめた台所用中性洗剤（食器用）を含ませた柔らかい布で拭いてから、さらに乾いた布でやさしくふき取ってください。



注意

決して直接水をかけたりベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください、変色や故障の原因となります。

本体カバー内部にシリコンスプレーなどの潤滑油は使用しないでください。駆動ベルトを傷める可能性があります。

アフターサービスについて

アフターサービスは、お買い求めの販売店を経由してお申込みいただくか、もしくは弊社へ直接お申込みください。弊社へご依頼いただく場合は必ず「販売店」と「お買い求め日」をお知らせください。販売店がわからない場合のアフターサービスはお受けできないことがございます、予めご了承ください。

1. 初期不良

お買い上げいただいた直後の不良（初期不良）に関しては不良箇所をご確認ください。まず、ご連絡いただく前に19ページの「故障かな？と思ったら」をよくお読み下さい。症状が解消されない場合、電話にてお問い合わせください。宅配便などを利用して対応させていただきます。※訪問サービスはさせていただきます。※訪問サービスはさせていただきます。

2. 修理依頼

まずは保証書をご確認ください。保証期間内であれば原則、無償で修理させていただきます。製品は厳密な品質管理および検査を経てお届けしたのですが、お買い上げ日から保証期間内に正常な使用において故障が発生した場合は、無償で修理を行います。但し、安全上及び使用上の注意を無視しての故障、あるいは規格外の改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間内であっても修理箇所によっては一部該当しない場合があります。保証期間が過ぎたものについては、有償で修理を承ります。修理依頼箇所をご確認いただいた上、ご依頼ください。※訪問サービスはさせていただきます。※訪問サービスはさせていただきます。

〈有償の場合〉修理費用として技術料＋部品代＋送料（宅配便利用）が必要です。

3. 消耗品のご注文

下記部品は保証期間内においても有償となっております。ご希望の際は販売店もしくは弊社へご注文ください。

- ・メーター ・ペダル ・サドル ・ハンドル ・ハンドルスポンジ
- ・駆動ベルト（本体カバー内負荷装置用ベルト） ・電池および周辺部品

4. 部品の保有期間

補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有とさせていただきますが、場合によってはその限りではございません。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お問い合わせください。

5. 不用品の回収サービス

弊社ではご不用になった製品の回収サービスを有料にて承っております。ご不用になった製品の処分にお困りの場合は弊社までご連絡ください。宅配便などによる引き取りを手配致します。製品が入っていたダンボール、エアパッキンなどで梱包していただき、弊社までお送りいただきます。処分費用・送料等、詳細はお問い合わせください。

修理メモ

故障かな？と思ったら

症状	確認事項
・ペダルを取り付けることができない。	・「右ペダル」は右回し、「左ペダル」は左回しに固定します。9ページを参照して正しく取り付けてください。
・メーターの液晶に表示がでない。	・電池の「+」、「-」に間違いはないですか？ ケース内の端子にしっかり接触していますか？ 一度電池を取り外し、もう一度確認しながらセットしてください。
・メーターの数値が上がらず「0」のまま。	・本体からのセンサーコードがメーターのコネクタに確実に差し込まれていますか？ 一度抜いて再度差し込んでください。
・心拍数が表示されない。	・パルスのセンサーをメーター裏のジャックにしっかりと差し込み、両手でしっかりハンドパルス部を握ってください。
・ハンドル、サドルがグラグラする。	・固定ノブ・固定レバーでしっかりと固定してください。
・負荷がかからない、音鳴り、回転が不安定。	・駆動ベルトが磨耗した可能性があります、お問い合わせください。
・焦げ臭いニオイがする。	・ゴム製の駆動ベルトは、長時間、重い負荷でこくと摩擦熱でゴムのニオイがする事がありますが、故障ではありません。

お客様お問い合わせ番号

お客様がお問い合わせの際にお聞きしますので、下記にお買い求め日、お買い求め先をお客様でご記入下さい。

商品名：スピナー・マグネットバイク

品 番：SPM-550

お買い求め日： 年 月 日

お買い求め先： _____

株式会社 日章貿易

 0745-43-1668

受付時間：10時～12時／13時～16時
平日のみ〈月～金〉

 メールでのお問い合わせ先：
support@nissho-trading.com

*お名前、連絡先、商品名、お問い合わせ内容を詳しくご連絡ください。

レシート・購入明細・運送便控え

注意：お客様の購入日を確認するために購入時のレシート等を保管ください。
ご購入先等が確認出来ない場合は保証期間内で有っても保証外になる事がございます。

保証書

(ご注意) 印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

商品番号		保証期間	
スピナー・マグネットバイク SPM-550		お買い上げ日から1年 *ただし消耗品を除く	
お買い上げ日		年 月 日	
お客様	お名前	販売店	住所・氏名 電話
	ご住所		
	電 話		

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店（修理申込先）が無料修理致します

2. 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店（修理申込先）に依頼してください。

3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談下さい。

4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、下記にご連絡下さい。

5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後取付場所の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や以上電圧による故障及び損傷
- (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障と損傷

(ホ) 本書の提示がない場合

(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、或いは字句を書き替えられた場合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

7. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束
ものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するも
のではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は
お買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

製造輸入元：株式会社 日章貿易 奈良県磯城郡三宅町屏風17-73